

令和6年度 看護職員の負担軽減計画

対象	分類		現状・問題点	対応方針	具体的な計画	目標達成
看護職員	ア 業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	病棟種別・患者数に応じた人員の適性配置	早番、遅番等の柔軟なシフト導入など（継続）	労働力の不足する部分・時間帯を見極め、業務の組み換えや柔軟な勤務シフト等により補填する。	実施済み （令和6年度も継続）
		その他	ICT、AI、IoT等の活用による業務負担軽減	AI問診により、初診問診時間の削減を図る。	AI問診を実施する対象診療科を増やしていきたい。	実施済み （令和6年度も継続）
	イ 看護職員と他職種との業務分担	薬剤師、リハビリ療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士、事務等	各職種の取組みは継続・拡大	継続	各職種にて引き続き協力体制の強化について検討継続する。	実施済み （令和6年度も継続）
	ウ 看護補助者の配置	看護補助者の夜間配置	病棟により実施している。	継続	引き続き夜間勤務可能者の確保を行っていく。	実施済み （令和6年度も継続）
		その他 （東館4階病棟において）	看護補助業務の5割以上が療養生活上の世話	患者数に応じて適切に看護補助者を配置する。	引き続き看護補助者の確保を図る。 経営本部とも協力し全社的に人材の募集等の取組みを行う。	実施済み （令和6年度も継続）
			みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上	患者数に応じて適切に看護補助者を配置する。		実施済み （令和6年度も継続）
	エ 短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間勤務可能者の雇用による労働力の確保	継続	外来に限らず病棟等でも短時間勤務者の活用拡大につながるシフト等の検討を継続する。	実施済み （令和6年度も継続）
		その他	外国人留学生の派遣労働者を導入している。	休日等の時間外の人員不足の解消を図る。	他の病床種別での導入が可能か留学生の業務拡大について検討を行う。	検討中 （令和7年3月まで）
	オ 多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入	夜勤専従者、短時間者等の導入	柔軟な勤務導入が可能か検討する。	勤務シフトが組み、有効と判断出来れば、導入して評価していく。	実施済み （令和6年度も継続）

カ 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所	設置している	継続	適宜、ニーズに即して実施している。新たなニーズが発生した際にも検討の上、取り組んで行きたい。 特に病児保育は有用と考えており、ぜひ実施したい。	実施済み (令和6年度も継続)  実施準備中 (令和6年度内目処)	
	夜間保育の実施	実施している				
	夜勤の減免制度	実施している				
	休日勤務の制限制度	実施している				
	半日・時間単位休暇制度	実施している				
	所定労働時間の短縮	希望により実施している				
	他部署等への配置転換	希望により実施している				
キ 夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	必要に応じて配置を検討する。	まず、人員の確保を図る。	各手段を用いて採用活動を行っている。(が、非常に困難な状況が続いている)	実施済み (令和6年度継続)	
	月の夜勤回数の上限設定	夜勤の連続回数が2連続(2回)まで	ガイドラインに則して対応していく			勤務シフト作成時に留意して作成する。
	その他	暦日の休日の確保	継続			